

# 薪ストーブ・灰との安全なおつきあい

こんにちは! 御代田初代者の(さ)です。雄大な自然に助けられながら、日々子育てに奮闘しています。

さて、今回はみんなが気になっている!?「薪ストーブ・灰」について特集します。薪ストーブ、あったかいですね。御代田でも使用されている方は多いかと思えます。でも、ちょっとまって! その薪は安全でしょうか??

薪を燃やすと放射性物質(セシウム)が最大**200倍**に濃縮されます。

**1Bq/kg**の薪でも、燃やせば**200Bq/kg**の灰に! (軽灰では1万%超え...)

メンバーの家のストーブの灰を調べたところ、みんな約**800~3000Bq/kg**検出されました。薪は御代田町内のものや近隣で購入したものを使っています。うすうす感じていたけれど、やっぱりショック。小さな子どもいるし、このまま薪ストーブを使って大丈夫かな? 安全な薪ストーブの使用方法について、R-DAN 作久放射能測定室の桑原さんにお聞きました。

「子どもへの影響が心配です」

燃やした時に空気中に放出されるセシウムは約**1~10%**(飛灰+気体)です。薪に含まれていたセシウム約**9割**がその灰に残り、煙突のスにも含まれます。

ストーブの閉閉時に灰を吸い込む危険性があるので、特に子どもはストーブに近づけないようにしましょう。大人も作業時には、マスクや手袋をした方がいいです。

「使用後の灰はどうすればいいですか?」

使用後の灰は**8000Bq/kg**以下ならば「ごみとして捨てられます。(※1) 御代田町では#沢処分場に直接持ち込むことになっていますね。庭に埋めたり、火田にまいたりしないでください! 環境中にセシウムが再循環してしまいます。庭に埋める場合には、セシウムが流出しないように容器に入れて保管しましょう。本当は自治体が密閉管理してくれると良いのですが...

「薪の放射性物質を減らす方法はありますか?」

現在の汚染は主に、木の表面に付着したものが染みこんでいっているので、木の表皮をはがして使用すると汚染度がぐんと下がる傾向にあります。  
 小枝は汚染面積が少ないので、汚染度が高いです。  
 また、比較的安全な薪(※)を入手することも良いですね。  
 震災以前にもチェルノブイリの影響などで、灰には200~300Bq/kgの汚染のあるものもあったんですよ。



「うちの薪や灰の汚染がどれくらいか気になります…」



ぜひ調べてみて下さい。100mlのタッパー(使い捨て)に灰をいっぱい詰めたものを用意して下さい。



1000円で測定できます。(※3)

※1 8000Bq/kg以上のものは指定廃棄物となり、国が処理することか法律により定められています。

※2 信州上小森林組合、伊那森林組合、検査して不検出のものなど  
 miyota.

※3 検査を希望される方は [ashitane@gmail.com](mailto:ashitane@gmail.com) までご連絡ください。詳細をお伝えします。

おわりに…

今、植物中のセシウム濃度は年々低くなっていますが、チェルノブイリの例を見ると、約10年後にまたぐんと高くなり、15年後にピークになるそうです。落ちた枝葉などが分解され、セシウムが植物に再吸収されるためです。除染されない野山ではこれがずっとくり返されることになるのです。

放射性物質による身体への影響は世代を超えて出てきます。気をつけられることには気をつけて、安全なつき合い方を模索しながら、自然豊かな御代田で元気に暮らしていきたいと思いました。⑤

